

第3回野洲市民病院整備運営評価委員会_会議結果報告書

平成29年11月22日
市民病院整備課

1. 開催概要

- (1) 日時場所：平成29年11月15日(水)14時00分～16時30分
野洲市役所本館3階 第1委員会室
- (2) 出席委員：学識経験者（塩田浩平、福山秀直、今中雄一）関係機関等（廣原恵子、福田正悟、岡田裕作）市民委員（玉本邦雄、水谷威彦、懸戸美栄子、青木雅子）
- (3) 欠席委員：学識経験者（及川清昭、白井宏昌）
(敬称略)
- (4) 出席職員：山仲市長、寺田政策調整部長、武内政策調整部次長、駒井市民病院整備課長、同吉川課長補佐、同飯田専門員、同北林主査、同田中主査、同葛野主事、同上野主事
(業務委託業者：㈱佐藤総合計画、㈱病院システム)

2. 会議結果

- (1) 野洲市民病院の基本設計について【審議事項】
 - ①専門部会（平成29年6月21日）結果報告について
 - ②実施設計に向けた意見等について

《事務局説明》資料1、2のとおり

《質疑、意見等》

福山委員

- ▶ エレベータについて、1基がストレッチャー専用で、一般用は1基しかないようである。また、午前中は、清掃等で利用が多くなる。
→一般用は2基と1階2階連絡用の1基で、合計3基となっている。また、スタッフ用として、別に3基を設けている。外来を2階に考えているが、駐車場を利用の方は、デッキを使ってエレベータに乗らずに利用いただける。病棟の利用者には、混乱のないよう表示の工夫をしていきたい。
- ▶ 外来患者のオーダー後の案内はどうなっているか。
→ブロック受付の予定であり、ブロックごとに案内の配置をすることになる。

廣原委員

- ▶ 一般病床において1床室にトイレがないようであるが、不便ではないか。
- ▶ 回復リハ病棟では、特に自力でトイレに行きたいという意見を聞く。トイレの設置をした方がよいと考える。
→一般病床の個室については、トイレや洗面は準備をする想定である。回復期については、実施設計においてトレーニングが可能かどうかを含めて考えていきたい。

懸戸委員

- ▶ 健康推進活動の部屋はどこか。面積も教えてほしい。
→1階の「けんこうホール」で行うことになる。広さは、学校の教室程度である。
- ▶ 駅前におけるにぎわいを創造し、コンビニも設置される中で、人が集まることを想

定しているにしては、1階のトイレが少ないと思う。

→1階には、2箇所設けている。駅前としての公衆トイレは、交流商業施設で整備する予定。

青木委員

▶現在の野洲病院にある「もの忘れ外来」の構想はあるか。

→専門外来は、先生の顔ぶれによって決定するが、現状～今後の患者ニーズを考えても設置は必要だと認識をしている。

玉本委員

▶野洲市自治連合会自治会長会議での意見を述べると、早くしてほしいということである。

▶トイレは、他院のデータや病床数当たりの数を参考にしながら、実施設計において適正に考えてほしい。

▶まちづくりについて、交流商業施設等のスケジュールが見えない。時期を明示された方が分かりやすい。

▶野洲学区のコミュニティセンターは、文化ホールと一体である。トータルでまちづくりを考えてほしい。

→交流商業施設を病院の開院に合わせて計画をしている。

→病院（計画）がスムーズに動いているときは、民間からの提案もあった。JRやURなど過去には話があった。病院事業の停滞で話がなくなっているが、これからホテルなど民間からの話もでてくると考える。柔軟に検討していきたい。

▶野洲病院の跡地利用にも関心がある。

廣原委員

▶今までの検討の経過の中で、「市民と共に」が強調されていると感じているが、最近、ボランティアの利用が多くなっており、ボランティア室が必要ではないか。

→3階の管理棟に設置を検討している。面積等は、これからの検討になる。

福田委員

▶災害が多くなっているが、耐震について新病院以外の商業施設、市役所等総合的な対応はされているのか。

→市役所は耐震構造であり、商業施設もIS値を達成する形での耐震構造で十分であるとする。新病院は、免震構造となっている。災害時の受入れとしては、トリアージの場所としても1階のヘルスケアパークが想定される。

及川委員 ※欠席のため、意見の紹介

▶11/15開催の評価委員会資料について、専門部会会議結果報告書を含め了承した。

▶駅前整備、にぎわいづくりにおいて、病院と立体駐車場、それをつなぐ連絡通路および市民広場は重要な施設となる。意匠や動線計画は勿論のこと、活発な市民活動を促す工夫が必要であり、実施設計以降十分に検討いただきたい。

白井委員 ※欠席のため、意見の紹介

▶基本設計のプロポーザル提案にもあったかと思うが、県、市産材の積極的な活用を検討いただきたい。

▶〔1F〕駅前ロータリー側には、コンビニに併設する形でカフェテラスを設けるな

ど、外部に開かれた空間がある方が良いと思う。

- ▶ [1F] ヘルスケアパークやコンビニは、病院利用者のみならず、駅やバス利用者を始め市民が気軽に利用しやすい環境づくりが重要。できる限り明るく開放的な空間が良いと思う。
- ▶ ヘルスケアパーク、ヘルスケアストリートは、病院利用者だけでなく、多くの市民が利用できる駅前の賑わいづくりの一翼を担う重要な空間である**と**考える。交流/商業施設と意匠的、機能的に繋げることにより、より良い効果が得られると思う。
- ▶ 病院を整備することにより、駅前ロータリー周辺の発展のきっかけとなることに期待する。

(2) 野洲市民病院の健全経営計画（案）について【審議事項】

《事務局説明》資料4「p.75-91」のとおり

《質疑、意見等》

今中委員

- ▶ 独法化（独立行政法人化）は、**今回の状況において必要である**と考えている。是非進めていただきたい。
- ▶ 総務省が検証結果を打ち出す前にでも**進めて**いく必要があると考える。
- ▶ **一部の病床**の地域包括ケア病床への転換は、新病院になる前からもなるべく早く**していく**方がよいと考える。
- ▶ 基本設計でも、患者サポートを重視されていると考えるが、**さらに重視することが必要ではないか**。他の医療機関や介護施設との連携も**関連がある**。病院による在宅ケアの取組みも強化されつつある。**患者サポート機能は**、今後さらに必要になってくる。
- ▶ 一般会計からの繰入れが前提の経営計画となるが、繰入れがなくても成り立つようなところを目指してほしい。

岡田委員

- ▶ 在宅医療については、野洲病院でも医一居ネット YASU など早い時期から取組みをしており、モデルケースとして自負している。病診連携、介護施設との連携を活発にしている。
- ▶ 地域包括ケア病床は、**施設基準を取って、現在** 12 ベッドでスタート**しており**、遅れを取らないように進めている。

廣原委員

- ▶ 独立行政法人化については、賛成である。
- ▶ 訪問看護、訪問リハビリステーションを在宅療養の時代を見据えやっつけられるが、訪問看護ステーションは、市内に5箇所の状況である。今後どの程度の規模にされていくのか。収益の指標が必要になると考える。
→民間の圧迫にならない範囲で効率的に行っていきたい。
- ▶ 健診についても、健康管理センターができることによって、収益をどれだけ上げられるかが重要になると考える。そのための指標が必要である。
→野洲病院の実績をベースに新病院効果、努力目標等の上昇を見込んで、計画している。
- ▶ 給与について、14ページにある「原則現給」の根拠は？技術職より事務職の方が高く違和感がある。県外でも給与体系の議論があるが、どこを根拠**と**されているのかを明確化した方がよいと考える。

→新病院の職員は、基本的に野洲病院のスタッフを中心に採用していくことになる。
今回の資料もそれを基準にしており、事務職より技術職の平均年齢が低い
ため、こういう数字になっている。

➤ 県外の独立行政法人化された病院では、経験的ではなく、ラダーをしっかりと作られて給与体系にされている。

➤ 組織図（P10）について、患者サポートセンターの中に「介護事業課」とあるが、在宅支援センター化するなどして訪問看護、訪問リハを独立した形で実施してはどうか。

→参考にさせていただきたい。現在はこういう考え方であるが、時代に合わせて柔軟に対応していきたい。

福田委員

➤ 独法化と市民病院の差はどうか。市民や医師会の意見が反映される市民病院を望んでいる。

→独立行政法人も公立病院の1つの経営形態であり、市民病院であるため、医師会との連携や不採算医療の確保も公立病院として実施することになる。議会や市長との関係についても、地方独立行政法人法に規定されており関与がある。法定の評価委員会も設置することになる。医師会との連携も充実できると考える。

→市民病院がなくなるわけではない。指定管理の場合は、丸投げになってしまうが、それよりは格段に市民病院の性格で運営ができる。

福田委員

➤ 丁寧に説明をしていただきたいと思います。

白井委員 ※欠席のため、意見の紹介

➤ 新病院開設に伴い独立行政法人に移行する計画については、良いと考える。

(3) 野洲市民病院整備事業の今後の工程について【審議事項】

《事務局説明》資料5のとおり

《質疑、意見等》

※質疑、意見なし

(4) 「野洲市民病院_事業実施計画」(案)について【報告事項】

《事務局説明》資料3のとおり

《質疑、意見等》

※質疑、意見なし